

きょうかのこしぼり
京鹿の子絞り ~伝統を日常に！~

京鹿の子絞りの課題・改善点：

鹿の子絞りは普段使いを想定していないため、需要が低く特別な機会のための芸術品として見られることが多いです。この産業を増やすために、私たちは京鹿の子絞りを日常に取り入れることを提案します。

提案：京鹿の子絞りを日常に取り入れる



1. 現代の流行に合わせたデザイン

和柄だけでは、購買層は興味のある人ばかり



モダンな柄や有名なキャラクターをデザインに取り入れる
〈ポイント〉

- ・企業や著名人と提携してデザイン作成をする
- ・その中でも一部に伝統的な柄を取り入れる

教科：化学

- ・布によって違った特徴がある
- ・天然素材は染めやすく、化学繊維は染めにくい

教科：ビジネス

- ・消費者の需要に合わせる
- ・キャラクターの人気を利用する



2. より手軽で扱いやすい生地を使用
絹は高いのが難点



もっと安くて扱いやすい布を使う
〈ポイント〉

- ・用途によって使う布を変える
例) 木綿：天然素材で肌触りがよい
→服やハンカチなど肌に触れる製品
ナイロン：摩擦に強く、耐久性に優れる
→鞆や財布、水筒カバーに

3. 日常的に使える製品に加工する

絹の布団や着物は必需品ではなくなっている



もっと現代の生活様式にあった製品に
〈ポイント〉

- ・染め終わった布の加工はコスト削減のために工場に委託する
- ・なるべく小さな手を出しやすい製品から始める
例) ハンカチ、パソコンカバー、スマホカバーなど



4. 販売

- ・土産物店や老舗だけでなく雑貨店やキャラクターのグッズショップ
- ・インターネット
- ・観光地で「日本の思い出」として観光客向けに販売

